

移住就農

新規参入

研修制度



うめづ なおゆき  
梅津 直幸さん（高梁市有漢町）

**就農**：2021年4月（就農当時43歳）

**新規就農研修**：2018年6月～2021年3月

**就農パターン**：移住就農（福岡県出身）

**耕地面積**：45a（うち借地40.5a）

**経営面積**：ぶどう45a（簡易被覆栽培）  
（ピオーネ20a、シャイン20a、  
その他5a）

**経営参画者**：本人、妻、  
期間雇用（年20時間）

**岡山県のぶどうにはブランド力があり、農業で生活していけると判断。研修環境や子育て環境に魅力を感じ、有漢町で就農しました。**

#### ——就農のきっかけは？

生涯ものづくりに携わっていきたいという思いと、直接消費者と接することができる職業への憧れがあり、これらを実現できる職業として農業を強く意識した。40歳を迎えたことをきっかけとして具体的行動に移し、情報収集、検討を行った。

#### ——前職の経験は活かしている？

化学メーカーで培った経験を基に、原価計算、工程管理、データに基づく改善、コストダウンの手法を、経営に活かしている。

#### ——岡山（高梁市）を選んだ理由は？

当時の勤務地だった某県（出身県ではない）で情報収集を行ったが、農業だけで生活していく絵が描けなかった。県にこだわらないで情報収集及び検討を行った結果、生活、経営構想を実現するために、果物でブランド力がある岡山県でのぶどう栽培が魅力的に映った。そこで、県の現地見学会に参加した。その後、県内における研修受入体制を比較・検討し、研修受入先にハウ

ス設備があり、複数の作型を研修できる（1年の間に同じ作業を複数回経験できる）有漢町を選んだ。また、町内に高速道路インターがあり、こども園、小学校もあり、これから小中一貫校もできる予定で、子育て環境が整っていることも決め手となった。

#### ——「ぶどう」を選んだ理由は？

果物にブランド力のある岡山県のなかでも、ぶどうは代表品目であり、生産、販売の基盤があり、農業だけで生活していけると判断したため。

#### ——就農で苦労した点と解決方法は？

##### 【農地】

町内の移住コーディネーターや地域農家の支援を受けながら借地園地を探していたところ、実務研修終了のタイミングで、成園40aを借りることができた。成園が借りられたことで、1年目から収入を得ることができた。当時の有漢町は高齢化が進む一方で若手のぶどう農家が少なく、成園を継承しやすい環境にあった

ことが有利に働いた。

### 【資金（経営・生活）】

研修中の生活費は、「やっていけるのかどうか」について心配を持っていたが、前職 20 年間のうちに自己資金を準備していたのと、妻に働きに出てもらって対応することができた。

### 【栽培技術など】

これまで農業の経験は一切なかったが、加温ハウスを持つ篤農家の親方（2 人体制）及び産地の栽培マニュアルから技術を習得した。なお、簿記など事務仕事も経験がなかったので確定申告には苦労した。

### 【住宅】

就農直後は、空き家バンクを利用して 3 年間借家を借りたが、その家は農機具格納場所がなく、出荷作業をする場所もなかった（その間、親方の空きスペースを借りていた）。現在は、条件が整った中古農家住宅を購入し、自分達家族の生活に合うように改修しながら居住している。

### 【機械・施設の準備】

防除用動力噴霧機などの機械等は借入を行うことなく自己資金で準備した。

### ——計画と現実のギャップはあった？

概ね想定範囲内に収まっているが、確定申告については、工夫の余地があるので今後とも勉強していきたい。

### ——地域への適応、順応に苦労した点、気を付けた点は？

消防団、地区の草刈、若手のぶどう生産者の集まり等、地域の活動は積極的に参加している。こちらの地区は開放的で子どもを核として皆さんとの関係性も苦労はしておらず、周囲の好意に素直に甘えている。

### ——経営目標は？

成園部分の農地は期間が来れば返すかもしれないが、面積的には現状維持したい。一方、昨年度は休みなく働き続けたためか腰を痛めて入院したので、今後は作業の効率化や、秀品率を高める栽培を目指したい。

### ——農業のやりがいは？

手をかけた分だけ応えてくれる。できたものが「おいしい」と喜んでくれることにやりがいを感じる。二人の子供たちは豊かな自然と、温かいご近所さんに囲まれ、のびのびと強く育っている。家庭菜園を楽しみ、焼き芋を焼き、猪肉を頂き、都会の便利さではない心地よい時を過ごしている。

### ——産地に入るメリットは？

技術向上に努めているものの、それでも思い通りの房にならないこともある。そんな房でも、この産地では生食用で販売でき、ロスが少ないことが大きなメリット。また、共同選果なので栽培に集中できる。

### ——後進へのアドバイスは？

住居については、最初借家でよい。借家住まいのうちに自分の必要とする条件をよく検討し、購入するなり、移るなり、建築するなり次のステップを決めたらよい。

### ——就農前の自分へのアドバイスは？

作物は待ってくれないので時間には追われるけれど、働きすぎないように。欲張りすぎないように。

### ——私の一文字

「喜」。

ぶどうをつくるのが楽しい。苦労を含めて楽しい。